
*
* 令和 5 年度 第 7 回 高 梁 市 農 業 委 員 会 総 会 会 議 録 *
*

高 梁 市 農 業 委 員 会

令和5年度 第7回高梁市農業委員会総会会議録

1. 令和5年10月10日 午後 1時30分 招集
2. 令和5年10月10日 午後 1時30分 開会
3. 令和5年10月10日 午後 3時15分 閉会
4. 会議の場所 高梁市役所 3階大会議室
5. 出席、欠席、遅参又は中途退場した委員の氏名

議席 番号	農 業 委 員 氏 名	出欠等 の 別	議席 番号	農 業 委 員 氏 名	出欠等 の 別	地区 番号	推 進 委 員 氏 名	出欠等 の 別
1	清 水 健 治	出	1 1	中 曾 浩 徳	出	1	山 川 光 男	出
2	三 村 憲 市	〃	1 2	藤 本 久 也	〃	2	西 村 匡 弘	〃
3	福 武 政 夫	〃	1 3	惣 田 敏 郎	〃	3	小 見 山 力 信	〃
4	前 崎 輝 之	〃	1 4	田 平 太 郎	〃	4	河 原 里 美	〃
5	渡 邊 佳 明	〃	1 5	伊 達 千 鶴 子	〃	5	平 松 伸 行	欠
6	小 野 貫 治	〃	1 6	綱 島 謙 一	〃	6	山 元 憲 民	出
7	小 物 博 子	〃	1 7	瀬 戸 川 伸 行	〃	7	野 村 幸 市	〃
8	小 野 昌 道	〃	1 8	土 岐 康 夫	〃			
9	佐 藤 俊 二	〃	1 9	小 西 雅 己	〃			
10	佐々木祥夫	〃						

6. 会議に出席した職員の職氏名

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
局長	田中博	係長	田村直之		
次長	中藤宏和	主事	山内光貴		
書記	藤代晋太郎				

7	本日の会議に付した議題とその結果				
	議案番号	件名		結果	
	第26号	農地法第3条の規定による許可申請について		4件	許可
	第27号	農地法第5条の規定による許可申請について		6件	許可
	第28号	農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による 農用地利用集積計画の決定について		4件	決定
	第29号	農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による 農用地利用集積計画の決定について		2件	決定
	報告事項	農地法第18条第6項の規定による通知について			
8	署名委員				
			7番	小物博子	
			8番	小野昌道	
9	議事の内容				
	令和5年度 第7回高梁市農業委員会総会会議録				
	令和5年10月10日(火) 高梁市役所 3階大会議室				

議 長	<p>それでは、本日の出席委員は、農業委員19名、推進委員6名です。過半数以上の委員が出席されていますので、会議は成立しております。只今から令和5年度第7回高梁市農業委員会総会を開会します。まず、本日の会議の議事録の署名委員の指名を行います。7番小物委員と8番小野委員を指名いたします。</p> <p>議案の審議に入ります前に、本日ご審議いただく案件は議案第26号から議案第28号でしたが、日程に議案第29号の「農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について」を追加し、本日の議題にしたいと思っております。追加理由について事務局から説明をお願いします。</p>
田村係長	<p style="text-align: center;">－ 追加議案朗読説明 －</p> <p>追加議案のご説明をさせていただきます。追加議案は議案第29号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地集積計画の決定についてでございます。こちらにつきましては、農地中間管理機構を通じ、利用権設定を行うものですが、農地中間管理機構との調整不足により議案作成後に利用権設定の申出がありました。新たに追加する利用権設定の件数は2件です。</p> <p>1件目はぶどう畑の利用権設定でございます。こちらの土地につきましては、同一地番の一部については、令和3年5月に利用権設定がされており、残りの一部も設定を行うものです。一部の利用権が設定されていることから、残りの一部も速やかに設定を行いたいと中間管理機構と両者から申し出があったものです。</p> <p>2件目は、牧草を栽培するもので、10月の利用権設定後速やかに農地の耕起や播種を行う必要があるものです。</p> <p>どちらの議案も速やかに審議していただく必要があることから追加議案としてお願いするものでございます。今後はこのようなことがないように、中間管理機構と連携を図ってまいりたいと思っておりますのでご審議の程よろしく申し上げます。</p>
議 長	<p>説明が終わりました。提案のとおり議案第29号を日程に追加し、議題とすることにご異議ありませんか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
議 長	<p>ご異議なしと認めます。よって、日程に議案第29号を追加し、議題とすることに決定しました。</p> <p>次に、議案の訂正があるとのことなので事務局から説明します。</p>
中藤次長 議 長	<p style="text-align: center;">－ 議案訂正朗読説明 －</p> <p>事務局から説明がありましたように、資料を訂正することとします。それでは、議事に入ります。「議案第26号 農地法第3条の規定による許可申請について」を議題といたします。39番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第26号39番朗読説明 －</p> <p>39番は、譲受人が、譲渡人から、贈与により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、田4筆で3,103㎡です。譲受人の通作距離は1.2km以内、耕作面積は8,233㎡、家族2人中耕作人は2人、対価は無償です。この案件につきましては、譲渡人が空き家バンクに自宅と農地を出しておられて、譲受人が購入することになったもので、交渉の結果、農地は無償となり、贈与となったものです。なお、譲渡人は、市外に事実上の本宅を持たれており、今後はそこが生活の本拠となるようです。これらことから、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、差し替えた5ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長 三村委員	<p>事務局から説明がありました。現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。</p> <p>現在は休耕中でした。問題ないと思っております。</p>

<p>議 長 小西代理 中藤次長 議 長</p>	<p>現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。 申請は4筆ですが、地図には5筆に丸印が付いているようですが。 1筆については、別で5条申請でご審議いただく案件です。 他に発言はありますか。 (「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。39番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、39番については許可とすることに決定しました。 次に40番について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>中藤次長</p>	<p style="text-align: center;">－ 議案第26号40番朗読説明 －</p> <p>40番は、譲受人が、譲渡人から、新規就農により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、田については、2筆295㎡です。畑については、2筆513㎡、合計4筆で808㎡です。譲受人の通作距離は10.6km以内、耕作面積は0㎡、営農計画書をいただいております。家族3人中耕作人は1人、対価は10アール当り83万円です。この案件につきましては、この地域に空き家を探していたところ、不動産業者からこの物件の紹介があり、家と含めて購入を決めたものです。通作距離が現自宅からとなっているのは、購入した空き家をリフォームするため、実際の引っ越しが3か月後になるためです。これらのことから、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、7ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
<p>議 長 小野昌道委員 議 長</p>	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。 今は耕作されていませんが、特に問題はないと思います。 現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。 (「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。40番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、40番については許可とすることに決定しました。 次に41番について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>中藤次長</p>	<p style="text-align: center;">－ 議案第26号41番朗読説明 －</p> <p>41番は、譲受人が、譲渡人から、贈与により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、田1筆337㎡です。譲受人の通作距離は、50km以内、耕作面積は0㎡、営農計画書をいただいております。家族2人中耕作人は1人、対価は無償です。この案件につきましては、譲渡人が管理困難となり、いどこである譲受人に贈与することになったものです。なお、譲受人の実家が申請農地の南側にあり、母と叔母が居住しており、取得した農地については協力して管理していくということです。これらのことから、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不</p>

<p>議 長 小野貫治委員 議 長</p>	<p>許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、8ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p> <p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。</p> <p>譲受人が親族の方で、実家に近いので問題ないと思います。</p> <p>現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。</p> <p>（「なし」と呼ぶ者あり。）</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。41番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>（挙手全員）</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、41番については許可とすることに決定しました。</p> <p>次に42番について事務局から説明をお願いします。</p>
<p>中藤次長</p>	<p style="text-align: center;">－ 議案第26号42番朗読説明 －</p> <p>42番は、譲受人が、譲渡人から、贈与により申請農地の所有権を取得する案件です。申請農地は、田については、8筆5, 231㎡です。畑については、1筆118㎡、合計9筆で5, 349㎡です。この案件につきましては、譲渡人は相続で農地を受けたが、県外に住んでおり耕作できない中で、長年譲受人に耕作してもらっていたが、この度財産整理の一環で、両者の話し合いで贈与することになったものです。これらのことから、農作業にも常時従事するものと認められ、また、取得後の農地について利用できるものと認められます。さらに、周辺農地との調和についても現地調査を行い、支障を及ぼす恐れは無いものと判断いたしました。従いまして、農地法第3条第2項の不許可要件には該当しないため、許可要件の全てを満たしていると考えます。なお、この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っています。地図については、9ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
<p>議 長 小野貫治委員</p>	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。</p> <p>現在、譲受人が既に耕作されている状態です。問題はないと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。</p> <p>（「なし」と呼ぶ者あり。）</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。42番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>（挙手全員）</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、42番については許可とすることに決定しました。</p>
<p>中藤次長</p>	<p>次に、「議案第27号 農地法第5条の規定による許可申請について」を議題といたします。33番について事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">－ 議案第27号33番朗読説明 －</p> <p>33番は、転用者が、譲渡人と賃借権を設定し、一時転用により営農型太陽光発電施設を設置するものです。申請農地は、田1筆1, 637㎡の内0. 47㎡です。転用目的は、営農型太陽光発電施設設置、賃借料は年3万円、施設の概要としては、1号柱1本、支線1本、太陽光パネル146枚、支柱84本、発電量 49.50 キロワットです。一時転用でありますので、賃借権の設定を行い、設定期間につきましては、譲渡人が認定農業者でありますので、10年間となります。この案件につきましては、前回の総会で遮光率の計算方法が間違っていた関係で誤った遮光率を示しておましてご迷惑をおかけいたしました。11ページの図面を</p>

	<p>ご覧ください。遮光率の計算は、本来アレイと呼ばれる架台の直下の農地面積を分母として、設置する太陽光パネルと梁等の面積を分子として計算するものですが、前回の資料では分母が申請農地全体となっており、これが主な原因で誤った遮光率が出ておりました。今回本来の計算で遮光率を計算しましたところ、表示のとおり 96.57%という結果が出ております。この結果は、この数値だけを見ればかなり高い値となっており、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構が発行している「営農型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン2023年版で示している「サカキ・センリョウ・マンリョウ・シキミ」の遮光率の19～85%と比べても高い数値となっております。このことを農政局に確認したところ、農地転用許可に際しての遮光率の取り扱いは参考にはするものの本来審査すべき点は「下部の農地における営農の適切な継続が確実に認められること。」であり、この点に関しては、既に県外でサカキの栽培を行っている農地に設置された営農型太陽光施設、ちなみにこの施設の遮光率は 98.8%ですが、特に問題はなくサカキは生育しているとのことです。このことは、ここで示された遮光率は、あくまで太陽の位置が真上にある場合の値であり、実際には太陽の位置が変わることで太陽光が下部に差し込む時間があり、サカキの生育に必要な光量の確保はできているようです。また、水の確保については、葉に悪影響があるため、直接サカキの葉に雨水がかかるのを避けながら水量を確保するため、パネルとパネルの間に10cmの空間を設けるようにしているとのことです。なお、このことは太陽光を確保するためのものでもあります。こうしたことから、事務局としては「下部の農地における営農の適切な継続」は可能であると判断しております。なお、この案件については、先月に現地調査を行っています。地図等については、10ページ及び11ページに添付しておりますので、ご覧ください</p>
<p>議長 西村委員 中藤次長 小野貫治委員 中藤次長</p>	<p>事務局から説明がありました。何か発言はありますか。 説明にあった県外の栽培データをもらうことはできますか。 はい。お渡しすることはできます。 遮光率が高いですが、育成不良等あった場合はそれに対応させることが可能なのでしょうか。 毎年2月に状況報告をしていただくようになります。令和6年の3、4月に植え付けを行うので、育成状況の確認ができるのは令和7年2月となります。報告によっては改善するよう伝え、計画に変更が生じれば再度、ご審議いただくようになります。</p>
<p>渡邊委員</p>	<p>農林水産省のホームページを見ると、営農型太陽光発電施設において、米や麦等の実績も掲載されていました。サカキでも問題ないと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他に発言はありますか。</p>
<p>議長</p>	<p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
<p>議長</p>	<p>なしとの声がありました。33番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p>
<p>議長</p>	<p>(挙手多数)</p>
<p>議長</p>	<p>挙手多数ですので、33番については許可とすることに決定しました。</p>
<p>中藤次長</p>	<p>次に34番について事務局から説明をお願いします。</p> <p style="text-align: center;">－ 議案第27号34番朗読説明 －</p> <p>34番は、転用者が、譲渡人と賃借権を設定し、一時転用により営農型太陽光発電施設を設置するものです。申請農地は、田2筆1、878㎡の内0.44㎡です。転用目的は、営農型太陽光発電施設設置、賃借料は年3万円、施設の概要としては、1号柱1本、支線1本、太陽光パネル146枚、支柱78本、発電量49.50キロワットです。一時転用でありますので、賃借権の設定を行い、設定期間につきましては、譲渡人が認定農業者でありますので、10年間となります。地図等については、12ページ及び</p>

議 長	<p>13ページに添付しておりますので、ご覧ください。遮光率の件についての説明は省略しますが、訂正された遮光率は13ページに示しております。</p> <p>事務局から説明がありましたが、何か発言はありますか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
議 長	<p>なしとの声がありました。34番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>(挙手多数)</p>
議 長	<p>挙手多数ですので、34番については許可とすることに決定しました。</p> <p>次に35番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第27号35番朗読説明 －</p> <p>35番は、転用者が、譲渡人と賃借権を設定し、一時転用により営農型太陽光発電施設を設置するものです。申請農地は、田1筆2、162㎡の内0.57㎡です。転用目的は、営農型太陽光発電施設設置、賃借料は年3万円、施設の概要としては、1号柱1本、支線1本、太陽光パネル146枚、支柱106本、発電量49.50キロワットです。一時転用でありますので、賃借権の設定を行い、設定期間につきましては、譲渡人が認定農業者でありますので、10年間となります。地図等については、14ページ及び15ページに添付しておりますので、ご覧ください。遮光率の件についての説明は省略しますが、訂正された遮光率は15ページに示しております。</p>
議 長	<p>事務局から説明がありましたが、何か発言はありますか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
議 長	<p>なしとの声がありました。35番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>(挙手多数)</p>
議 長	<p>挙手多数ですので、35番については許可とすることに決定しました。</p> <p>次に36番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第27号36番朗読説明 －</p> <p>36番は、転用者が、譲渡人と賃借権を設定し、一時転用により営農型太陽光発電施設を設置するものです。申請農地は、田1筆1、703㎡の内0.47㎡です。転用目的は、営農型太陽光発電施設設置、賃借料は年3万円、施設の概要としては、1号柱1本、支線1本、太陽光パネル146枚、支柱84本、発電量49.50キロワットです。(設置費883万3千年、土地草刈整地費60万円、防草対策費20万円)一時転用でありますので、賃借権の設定を行い、設定期間につきましては、譲渡人が認定農業者でありますので、10年間となります。地図等については、16ページ及び17ページに添付しておりますので、ご覧ください。遮光率の件についての説明は省略しますが、訂正された遮光率は17ページに示しております。</p>
議 長 佐々木委員 中藤次長 佐々木委員 中藤次長 議 長	<p>事務局から説明がありましたが、何か発言はありますか。</p> <p>33番から36番までの4件の作目はなんですか。</p> <p>サカキです。パネル外の一部では櫛を栽培する計画となっています。</p> <p>確認はどのように行うのですか。</p> <p>苗木は来年の3、4月頃に植える計画なので、そこで一度確認し、再来年の2月の状況報告で再度確認するようになります。</p> <p>事務局から説明がありましたが、何か発言はありますか。</p>

議 長	<p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p> <p>なしとの声がありました。36番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>(挙手全員)</p>
議 長	<p>挙手全員ですので、36番については許可とすることに決定しました。</p> <p>次に37番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第27号37番朗読説明 －</p> <p>37番については、転用者が、譲渡人から申請農地を贈与により所有権を取得し、進入路を設置するために転用するものです。申請農地は、田1筆79㎡です。この農地の農地区分は、第2種農地であり転用地の価格は無償です。備考に記載しておりますが、許可前に進入路が完成していたため、転用者に反省を促すために始末書の提出をいただいております。6ページをご覧ください。今回の転用目的は譲受人の農地に公道から入る進入路を確保するためのものです。公道から該当の農地の間に自己所有農地と譲渡人農地があり、自己所有農地に設置する進入路については、農業用進入路は農業用施設であるため、200㎡以内の転用については、許可不要案件となるため、届出をいただいております。譲渡人農地については、進入路部分を分筆し、この度農地転用申請を行っております。なお、対価が無償となっておりますのは、お互い近所同士であり、両者の話し合いで贈与することになったものです。許可基準に沿って検討いたしました。信用につきましては、過去に違反転用等はありません。転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意につきましては、該当ありません。行政庁の免許、許可、認可等の処分の見込みにつきましても、該当ありません。以上のことから、農地法第5条第2項の不許可要件には該当せず、許可要件の全てを満たしていると考えます。この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っております。地図等は、5ページから6ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
議 長	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。</p>
三村委員	<p>既に進入路が造成されていましたが、耕作のために必須であり、特に問題ないと思います。</p>
議 長	<p>現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。</p> <p>(「なし」と呼ぶ者あり。)</p>
議 長	<p>なしとの声がありました。37番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。</p> <p>(挙手全員)</p>
議 長	<p>挙手全員ですので、37番については許可とすることに決定しました。</p> <p>次に38番について事務局から説明をお願いします。</p>
中藤次長	<p style="text-align: center;">－ 議案第27号38番朗読説明 －</p> <p>38番については、転用者が、譲渡人から申請農地の所有権を取得し、資材置場及び駐車場を設置するために転用するものです。申請農地は、田3筆1,008㎡です。この農地の農地区分は、第2種農地であり転用地10アール当りの価格は800万円です。施設の概要といたしましては、資材置場464㎡と駐車場544㎡です。19ページをご覧ください。この案件につきましては、当面は、土地利用計画図のとおり資材置場と駐車場を設置しますが、将来的には隣地も取得して拡張する計画があるようです。したがって、現状は申請農地に進入するルートがありませんが、北西側に有限会社正寺運輸の事業場があり、転用者はその進入許可を得ており、隣地を取得して拡張するまでは、そちら側からアクセスして作業を行う計画です。許可基準に沿って検討いたしました。信用につきましては、過去に違反転用等はありません。転用行為の妨げとなる権利を有する者の同意につきましては、該当ありません。行政庁の免許、許可、認可等の処分の見込みにつきましては、農地との間に青線がありますが、青線の管理課である</p>

	<p>建設課と協議済であることを確認しております。以上のことから、農地法第5条第2項の不許可要件には該当せず、許可要件の全てを満たしていると考えます。この案件については、9月29日に担当委員と現地調査を行っています。地図等は、18ページから19ページに添付しておりますので、ご覧ください。</p>
<p>議 長 小野昌道委員</p>	<p>事務局から説明がありましたが、現地を調査した委員さんから報告があればお願いします。</p>
<p>議 長</p>	<p>休耕地であり、事前着工等はありませんでした。問題ないと思います。</p>
<p>議 長</p>	<p>現地の状況は、ただ今報告のあったとおりです。何か発言はありますか。 (「なし」と呼ぶ者あり)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。38番について許可とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、38番については許可とすることに決定しました。</p>
<p>藤代書記</p>	<p>続きまして、「議案第28号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。事務局、1番から4番について説明をお願いします。</p>
<p>藤代書記</p>	<p>それでは、4ページをご覧ください。農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定についてご説明いたします。公告日は令和5年10月20日、利用権の設定を受ける者は4名、利用権の設定をする者は4名、利用権の設定をする件数は4件、利用権設定面積は3,570㎡となっています。各筆明細について説明いたします。</p>
<p>議 長</p>	<p>－ 議案書にもとづいて、1番から4番までの個別の農用地利用集積計画の内容を朗読説明 －</p>
<p>議 長</p>	<p>事務局から説明がありましたが、1番から4番について発言をお願いします。 (「なし」と呼ぶ者あり)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。1番から4番について一括して採決をとります。1番から4番について、決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、1番から4番について決定しました。</p>
<p>藤代書記</p>	<p>続きまして、本日追加議案としました「議案第29号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定について」を議題といたします。事務局、1番について説明をお願いします。</p>
<p>藤代書記</p>	<p>それでは、追加資料をご覧ください。農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農用地利用集積計画の決定についてご説明いたします。公告日は令和5年10月20日、利用権の設定を受ける者は3名、利用権の設定をする者は3名、利用権の設定をする件数は2件、利用権設定面積は6,263㎡となっています。各筆明細について説明いたします。</p>
<p>議 長</p>	<p>－ 議案書にもとづいて、1番の農用地利用集積計画の内容を朗読説明 －</p>
<p>議 長</p>	<p>それでは、1番について発言をお願いします (「なし」と呼ぶ者あり)</p>
<p>議 長</p>	<p>なしとの声がありました。1番について採決をとります。1番について、決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。 (挙手全員)</p>
<p>議 長</p>	<p>挙手全員ですので、1番について決定しました。 高梁市農業委員会会議規則第18条の規定により、野村委員の除斥を求めます。</p>

(野村委員退席)

議 長
藤代書記
議 長
議 長
議 長

議 長
藤代書記
議 長
議 長

事務局、2番について説明をお願いします。

－ 議案書にもとづいて、2番の農用地利用集積計画の内容を朗読説明 －

それでは、2番について発言をお願いします

(「なし」と呼ぶ者あり)

なしとの声がありました。2番ついて採決をとります。2番について、決定とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

(挙手全員)

挙手全員ですので、2番について決定しました。

野村委員の除斥を解きます。

(野村委員着席)

次に、「報告事項 農地法第18条第6項の規定による通知について」を事務局から説明をお願いします。

－ 議案書にもとづいて、通知の内容を朗読説明 －

説明が終わりましたが、発言をお願いします。

(「なし」と呼ぶ者あり)

以上で、本日の議案の審議はすべて終了しました。それでは、以上をもちまして、高梁市農業委員会第7回総会を閉会します。

令和5年10月10日

会 長 土 岐 康 夫

7 番 小 物 博 子

8 番 小 野 昌 道